

新型ノロウイルスが大流行の兆し

国立感染症研究所の調査から昨年冬から国内で流行を引き起こしている多くのノロウイルスが、新たな遺伝子型「GII.17」であることが明らかになりました。GII.17は中国南部で発見されたウイルスで、2014年9月から2015年3月に江蘇省で23事例のノロウイルス集団発生のうち16事例がGII.17が原因であったほど中国では流行しています。ノロウイルスは一本鎖RNAのため変異しやすく、GII.17もヒトへの感染のしやすさに関わる部分に変異しており、免疫を持つヒトがほとんどいません。そのため大人も子どももGII.17に感染しやすい状況なのです。

奈良県では、2014年秋頃から冬にかけてGII.3の検出数が多く、冬から春先にかけてはこれまで世界的に流行しているGII.4でした。GII.17は今年の1月に検出して以降、ピークが過ぎる4月までの月別の検出数の30～60%を占めるほど検出数は増加しています(表参照)。この流行する遺伝子型の移り変わりは、近畿全体でみても奈良県と同様の変化を示しています。

表. 検出したノロウイルスの遺伝子型解析結果

| | GI.2 | GI.3 | GI.4 | GII.3 | GII.4 | GII.13 | GII.17 |
|---------|------|------|------|-------|-------|--------|--------|
| 2014年9月 | | | | | | | |
| 10月 | | | | 2 | | | |
| 11月 | | | | 8 | 1 | | |
| 12月 | | | | 15 | 3 | | |
| 2015年1月 | | | | 2 | 6 | | 5 |
| 2月 | 1 | | | 1 | 3 | | 4 |
| 3月 | 2 | 1 | 1 | | 2 | 2 | 3 |
| 4月 | 1 | | | | 1 | | 3 |
| 5月 | 1 | 1 | | 1 | | | |
| 6月 | | 1 | | 1 | | | |
| 7月 | | | | | | 1 | |
| 8月 | | | | | | | |

※集団発生、散発を含む。いずれも1とカウント

ノロウイルスは、2004年に国内で死亡例を含む大流行が発生し大きな社会問題となりました。その後も2004年に流行したウイルスとほぼ同型ウイルスが、2006年には過去最悪とも言われる大きな流行を引き起こしました。

今冬季のノロウイルスの流行は、これまでに流行した型に加えて新たに変異を起こしたGII.17による感染が広がる可能性が危惧され、2006年以来の大きな流行になる恐れがありますので十分な警戒が必要です。

◆参考ホームページ

国立感染症研究所

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/norovirus-m/775-idsc/1538-noro-detect.html>

厚生労働省検疫所

<https://www.forth.go.jp/useful/infectious/name/name08.html>

厚生労働省 感染症情報

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/norovirus/>



ウイルス・疫学情報担当